

哀れペット、処分の運命

「ペットはおもちゃでは
ないんですが…」と開口一
番、動物管理センターの職
員は嘆いた。

昨年、神戸市で飼い主や

動物愛護も

名ばかり…

「ペットはおもちゃでは
ないんですが…」と開口一
番、動物管理センターの職
員は嘆いた。

千匹、飼えなくなつて飼
主から持ち込まれたのが二
千匹となっている。
昭和五十年に比べると三
分の一に減少しているとい
え、当然これら持ち込ま
れた動物は即日、もしくは
数日間保護された後、処分
されていく。

なんとも哀れな運命だ
が、神戸市動物管理センタ
ーは「ペットと人間が共
生できる社会にするには、
人間が動物の習性を理解
し、しっかりとしつけを
することが大切」と話す。
折しも、今は動物愛護
週間。動物との付き合い
方をもう一度考え直す契
機にしたい。



処分を待つ哀れなペットたち―神戸市北区山田町、神戸市動物管理センター